



第60号
2014年6月発行

A I R A

ABIKO INTERNATIONAL RELATIONS ASSOCIATION (我孫子市国際交流協会 TEL. 04-7183-1231)

2014年度 総会の開催

日 時：2014年4月26日（土）13:00～15:30
会 場：あびこ市民プラザ 多目的ホール



総会は、ドイツ人ロス・ヨーグさんの堂々とした日本語での開会宣言から始まりました。ロスさんは昨年ドイツから来日し、現在 AIRA 日本語教室の生徒さんです。早坂会長の挨拶に続き、名誉会長、顧問から挨拶をいただきました。名誉会長 星野市長の代理として青木副市長から、「我孫子市は市の国際化推進を AIRA に頼ってきた。外国人も地域の構成員であるとの観点から、現在市では『災害弱者対策行動計画』の見直しを行っている。AIRA の協力が必要です」との挨拶がありました。

また、顧問である木村我孫子市議会議長から、「外国人と互いの文化を認め合い、市民の一員として暮らし、社会参加を通じて信頼できる友人となるように。また

子ども達が国際交流を深めながら人間関係・信頼関係を築くことは今一番大切なことと感じている。その意味で AIRA の皆さんの活躍を期待しています」との挨拶がありました。

続いて2014年度の事業計画及び事業予算について採択され、原案どおり承認されました。

また報告事項として、顧問の交替が報告され、新役員の紹介がありました。

2014年度の AIRA 役員は次のとおりです。

会 長：菅野哲哉
副 会 長：北嶋扶美子、村越孝一
総務部会長：足達法子
広報部会長：中村孝行
交流部会長：早坂 満
研修部会長：別府宏一郎
ボランティア部会長：艦 康彦
会 計：鷲見政夫、井手口 起



総会の後、倉部教育長の乾杯の後、お茶を飲みながら軽食での交流パーティが行われました。パーティでは、英会話クラス生の望月雅子さんによるフルート演奏が行われました。フィリップ・ゴーベール「ファンタジー」とショパン「ノクターン」の2曲が演奏され、フルートの明瞭で澄んだ音色に聞きほれ、出席者は心洗われる思いがしました。

AIRA を支えてくださる賛助会員の皆様 (入会順・敬称略)

(公財) 山階鳥類研究所 / (株) 染谷観光旅行社 / 我孫子市商工会 / (株) 千葉銀行 我孫子支店 / 日本電気 (株) 我孫子事業場 / (一財) 電力中央研究所 / 中央学院大学 / 国際ソロプチミスト千葉ユカリ / (一社) ガールスカウト千葉県連盟第45団 / 我孫子市サッカー協会 / 中央学院高等学校 / 川村学園女子大学 / (一社) 我孫子市医師会 / (医) 創造会 平和台病院 / 我孫子市市長会 / (一社) 我孫子青年会議所 / (有) マエダ印刷 / (有) 石江商店 / 今井タクシー (有) / 我孫子ライオンズクラブ / 我孫子ロータリークラブ / 世界の人情館 / 中央学院大学校友会 / 福泰厨房 あびこ店 / 晃南土地 (株) / アビコ西武観光 (株) / (株) 野田電機 / かくみや工務店 / 村越材木店

新会長挨拶

菅野 哲哉



このたび早坂前会長を引き継いで会長に就任しました菅野哲哉です。

AIRAは平成4年(1992年)11月の創立から今年で23年目を迎え、私は第10代目の会長となります。

創立以来、多数の皆様が築きあげてきた国際交流ボラ

ンティア活動は、種類、件数とも膨大な数にのぼります。発足当初は市内在住外国人への日本語指導が主な活動でした。今日に至るまでAIRA日本語教室で学んだ外国人は延べ2000余名に及ぶと見られます。また、語学講座は当初の英語、中国語両クラスから、現在の5か国語27講座へと広がり多くの市民が熱心に勉強されています。

市の委託事業「外国人のための日本語教室」に加えて、「広報あびこ」の英訳、一般翻訳・通訳の件数も年々増加し、さらに「外国人相談窓口」は日常生活に不慣れな多くの外国人には頼もしい存在です。AIRAの諸活動を紹介する広報記事は会員のみならず近隣の交流協会などからも注目される存在です。

こうした年間事業に加えて、一般市民も参加する「国際交流まつり」をはじめ、スピーチ大会、文化講座、バスツアーなどのワンデイ・イベントもすべて会員のボランティア活動によって企画・運営されています。AIRA活動の内容は、「学ぶ」、「作る」、「教える」、「参加する」、に大別されるかと思えます。来訪する外国人や市内在住の外国人との交流にもAIRAはお役にたちたいと考えています。同時に国際交流にかかわる市内の他グループとも折に触れて協調しあい、近隣国際交流団体とも連携を深めていく方針です。また、事業推進に際しては市の様々な支援・協力が欠かせません。

今後の課題として、事業規模の見直しと基礎財源の安定化、さらに、組織の法人化の是非についても一定の方向性を見出していく必要があります。AIRAは会員の皆さんの熱意とボランティア精神に支えられた活動組織です。

私は、地道で着実なAIRA活動の歩みを今後ますます充実発展させるべく微力を尽くすつもりです。よろしくご挨拶致します。

前会長挨拶

早坂 満



平成22年度から2期4年間会長を務めさせていただきました早坂満です。

この4年間は、役員の皆様や事務局の強力なサポートをはじめ理事、監事或いは賛助会員及び個人会員の皆さんの多大なご協力により毎年数多くの活動を行うことができました。また、名誉会長の星野市

長をはじめ市議会及び市役所の多くの方々にも様々なご指導・ご協力を頂戴し誠に感謝しております。

AIRAの活動は、1992年の設立当初から「草の根の国際交流」を基本としています。その為、来日間もない外国人の方々の為の日本語教室の設置や翻訳・通訳業務、外国人相談窓口の開設、更に日本語を必要とする児童・生徒への支援(学校派遣)などの支援を行っています。また、国際交流まつりをはじめ、外国人の為の文化講座、バスツアー、ポットラックパーティ、交流サロン、ホームステイの受入れ、グローバルボランティアの受入れ、留学生が先生、国際理解講演会などを通じて外国人の方々との交流会も多数開催しています。

その他、英語、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語の講座を開設し市民の方々の外国語のスキルアップを図ったりスピーチ大会を通して、中学・高校生や大学生の皆さんの国際交流意識を高める活動も行っています。これ以外にも他団体との共催事業や情報交換会なども行っています。これらの様々な活動により我孫子市の国際化に対して一定の成果があったものと信じています。これらの事業を行ってこられた会員の皆様のご努力に御礼申し上げます。

これからAIRAの活動を継続するためには、幾つかの課題もあると思います。安定した財源の確保すること、市民の方々に対するAIRAの認知度や評価をあげること、外国人の方や青少年の方々にもAIRAのスタッフとして各種活動に参加してもらうことなど。これらの課題を解決するのは簡単ではありませんが、賛助会員や個人会員を増やす努力をしたり、様々なツールを使ってなるべくお金をかけずに広報活動を行ったり、外国人の方や青少年の方々スタッフが参加しやすい環境の整備やイベントの企画などを検討する必要があるのではないかと思います。

より具体的な方法は、経験豊富な菅野新会長を中心に ご検討をお願いしたいと思います。皆様この4年間ご支援ありがとうございました。今後は交流部会長として活動を続けさせていただきますので、今後ともどうかよろしくご挨拶いたします。

2014 年度事業計画について（全体事業）

全体事業は、協会の基本方針である草の根レベルでの国際交流を推進するため、我孫子市に住む外国人の方々が参加し易い内容を取り入れて創意工夫し、市民とりわけ青少年の国際感覚が高まり関心を持てるような事業を企画し、協会活動の充実と異文化の理解に努め会員同士の親睦を深めていきたいと思っております。

1 第 23 回あびこ国際交流まつり

今回で 23 回を迎える国際交流まつりは、市内在住の外国人の方々と市民及び会員同士の交流を深める最適なイベントと考えます。外国人の方々が積極的に参加できる内容のまつりにしたいと思います。

日時：2014 年 11 月 30 日（日）開催予定
会場：あびこ市民プラザ

2 第 16 回国際交流スピーチ大会

この事業は、国際的な視野を持つ青少年の育成を目的として開催しています。国際交流に関して、どのような経験や考えを持っているかを重視しており、国際交流スピーチ大会へ出場することは、新たな自分を発見することにもなります。めまぐるしく変化する今日の世界に目を向け、様々な出来事に対して自分の意見を主張できる場は、国際交流に深く関心を持つ若者への機会の提供でもあります。

日時：2014 年 9 月 28 日（日）開催予定
会場：あびこ市民プラザ

3 外国人のための文化講座

外国人の方の要望を取り入れた内容とし、日本の伝統文化、習慣も取り入れて体験できる機会を提供する講座とします。この講座の受講が日常生活の中で役に立つことを期待し、また受講を機会に AIRA の事業や地域の行事に積極的に参加し、会員や市民との交流が深められることに繋がっていくと信じ実施します。日本の文化だけではなく、外国出身者からお国の文化や料理等を紹介して頂き相互の意識の向上に努めます。また市外の施設見学も取り入れ出来る範囲で開催いたします。

4 東葛地区国際交流協会連絡協議会

本協議会に参加することにより、東葛地区の他国際交流協会と AIRA を比較検討および参考にできる良い機会であると考えています。

2014 年度(平成 26 年度)は流山市国際交流協会(NIFA)が幹事の任に当たります。

第 1 回連絡協議会 2014 年 5 月 23 日（金）

情報交換会 9 月 19 日（金）
第 2 回連絡協議会 12 月 5 日（金）

5 業務受託事業

我孫子市からの受託業務として「外国人のための日本語教室」、通訳・翻訳業務、「広報あびこ」の保健・イベント関連記事等の編集・英訳印刷・配布をはじめ、随時各種の翻訳を行います。必要なときにそのつど各国語の通訳の派遣をします。外国人からの相談にこたえる「外国人相談窓口」は常時受け付けし対応します。

6 日本語指導のための学校派遣事業

AIRA と我孫子市教育委員会の連携のもとに、市内小中学校に在籍する日本語習得のための支援を必要とする児童生徒に対して、学校からの申請に基づき日本語指導のボランティアスタッフが学校に出向き指導をするという「日本語指導のための学校派遣」を全体事業に位置付けて活動して 7 年目になります。日本の小学校・中学校に通学しながら、日本語の指導を受け学校生活を懸命に頑張る子ども達にとって、AIRA の日本語支援が果たす役割は大きいと実感しています。子どもたちの環境に合わせた心配りの行き届いた指導が行われ、学校からは AIRA の日本語支援ボランティアの熱心な指導に対して感謝が寄せられています。

7 グローバルボランティアの受け入れについて

前年に引き続き、2014 年度も千葉大学は AIRA の実施する主要プロジェクトへの学生の参加を希望しています。学生が市民のボランティア活動に関心を持ち積極的に参加することに賛同し、先方の依頼に応じて下記プロジェクトを提示しました。

- 1 国際交流まつり
- 2 国際交流スピーチ大会
- 3 我孫子国際野外美術展
- 4 外国人のための日本語教室

8 その他

- ① スポット的な事業についてはその時点で検討し対応します。
- ② 2014 年度も償却備品積立金をします。

第1回理事会開かれる

日 時：2014年4月17日（木）14:00～15:30
場 所：あびこ市民プラザ 会議室1
出席者：理事19名

4月13日のAIRA役員会に提示し審議承認された案件について、本日の理事会で審議しました。

- (1) 2013年度事業報告および収支決算
- (2) 理事・監事・役員の変替
- (3) 2014年度事業計画（案）および事業予算（案）

これらの項目について理事会で審議の結果、同意を得たので4月26日に開催される第23回総会に提示することとなりました。また2013年度決算についての監査も4月15日に終わったことが報告されました。

理事会終了後各理事より簡単な自己紹介、所属団体の活動状況の説明がありました。外部理事の皆様からはAIRAの日頃の活動を評価する報告がなされました。



（公財）山階鳥類研究所に寄付

AIRAは2013年12月25日、第22回あびこ国際交流まつり（2013年11月25日開催）でアホウドリを刻印した紅白まんじゅうの販売による収益金と会員の方々からの寄付金を北嶋副会長より（公財）山階鳥類研究所に寄付させて頂きました。

同研究所が行っている「アホウドリの保護活動」に賛同し応援の意をこめて些少ではありますが寄付を行った次第です。

「書道」を習う

日本語火曜日クラス2学期合同学習会

日 時：2013年12月10日（火）10:30～12:00
場 所：我孫子市民プラザ ホール
参加者：30名
（日本語学習者、託児ボランティア、日本語ボランティア）

漢字は日本語クラスボランティアのお母様が書道の先生をなさっているので、いくつかお手本を書きいただきました。

「幸」「信」「愛」「福」「心」「馬」「ゆめ」「絆きずな」などで、非漢字圏の参加者にはボランティアが漢字の意味を説明しました。お手本の中から参加者に好きな一字を選んでもらって練習しカレンダーをつくりました。

参加者の出身国は、中国、台湾、フィリピン、アメリカで、筆を持つのが初めての人もいましたが、台湾出身の方は書にとっても慣れているようでした。合同学習会では、いつもお世話になっている託児ボランティアの方にも参加してもらいました。

皆さん、個性のある字を書き上げ作品の出来栄えに満足そうでした。

またいい機会でしたので年賀状の書き方をプロジェクターを使い、クイズ形式で行ないました。短い時間でしたが皆で書道を楽しみました。



第4回日タイキッズ ラグビー交流の支援

時期：2014年4月4日（金）～5日（土）

場所：（4日）手賀の丘少年自然の家

（5日）NECラグビーランド

子ども達：（日本側）我孫子・柏・印西・松戸の各子供ラグビースクール生

（タイ側）Vajiravudh college 付属校ラグビー部員



の現役選手によるラグビーの模範プレーがありました。点の取り方、防御（タックル）、パス廻し、スクラム、ラインアウト等。タックルやスクラムは迫力があるので、タイの選手も参加して行いました。

その後、日タイのキッズは、NECグリーンロケッツの選手8名が加わり、4箇所に分かれてラグビーの実技練習をしました。「ゴールキック」コーナーでは、ボールの立て方とキック、「ランニングパス」コーナーでは、ディフェンスを避けてパスやフェントを、「ラインアウト」コーナーでは、NECの選手に高く持ち上げられて、「スクラム」コーナーでは、力を振り絞りスクラムで押す体験をしました。

日タイの子ども達は、桜咲く晴天の下、北風がグラウンドを吹き抜ける中で、ラグビーを通じて心を一にして楽しんでいました。「ラインアウトが一番楽しかった」（日本の子ども）、「スクラムが一番楽しかった」（タイの子ども）。木田会員も通訳しながら子ども達に混じり走り回っていました。午後からは日タイ混成チームによるTouch Footballで交流を深めました。

ラグビーは「紳士のスポーツ」とも称され、タイでも結構盛んなようです。千葉県内にも小学生を対象としたラグビースクールが13あり、700名のメンバーがいるそうです。子どもの頃から親睦を深めることは、国際交流に大変有意義なことです。第1回目の交流から続く木田会員による支援は、ラグビー精神「One for All All for One」の人種国境を越えて友情を深めるのに大いに役立ったと感謝されています。

タイからの一行は、翌日印西グラウンドで交流戦をし、その後ディズニーランド、東京遊覧をして帰国の途に就きました。



ラグビーを通じて国際交流を深めるために、タイから子ども達が来日しました。

当協会では、タイ出身で長く市内に住んでいる木田ワサナ会員が日本側とタイとの連絡・通訳として支援に努めました。初日の手賀の丘での宿泊地では、日本のキャンプ生活に不慣れなタイの子ども達に親切に対応し、又日本の子ども達の「お・も・て・な・し」を側面から支援しました。

タイからの来日は今年で4回目、今年は11歳前後の子ども達18人と引率者・父兄達です。4日、宿泊先の「県立手賀の丘少年自然の家」に到着、地元ラグビー少年少女や関係者が出迎えました。日タイの子ども達40名余りの他、そろって夕食のカレーを食べながらの歓迎会でした。

宿泊は、日本の子ども達と相部屋で、ベッドメイキングや寝具のたたみ方等を教わっていました。

翌5日は、NECラグビーランドに移動。我孫子・柏・松戸・印西の各子どもラグビーチームの約150名がタイの子ども達を出迎えました。

主催者の歓迎の挨拶の後、「NECグリーンロケッツ」



英会話上級クラス担当

Mr. Jason Pegg



Hello, my name is Jason Pegg, this will be my first time teaching at AIRA. I am from the state of Utah in the U.S.A and have been living in Japan for a little more than 2 years now. I am married to a Japanese woman which is the main reason I am living in Japan.

I have really enjoyed my stay in Japan and I'm looking forward to many more wonderful years in this beautiful country. In my free time I love playing golf, watching baseball and watching movies. I also enjoy graphic design and web development which was my college major.

Since living in Japan I have taught English to a wide range of students. I have experience teaching children as young as 3 years old at an International kindergarten, as well as teaching basic level Adult classes up to business level English classes. The way I was taught to teach English was not by grammar but by introducing a grammar structure through speaking and practicing. Getting the student to speak in full natural sentences and having them perform what they learned in a role play situation.

The English class I am teaching is the highest level of 9 classes taught at AIRA. This class will not focus on strict grammar but rather focus on fluency. My class will be a discussion based class with debates about many different topics chosen by the students. Each student will choose a topic of his/her choice and prepare a short presentation about the topic. I will find an article related to each topic chosen and as a class we will read, discuss and debate each topic. Each class, a different student will make their presentation on their chosen topic. If time allows we will open the class for free conversation on current events or other topics.

I really enjoy teaching and I like to joke around and have a good time. I think if you're having fun, it will make learning easier. So, I look forward to meeting new students and having fun learning English!

Jason Pegg

中国語入門クラス担当

徐麗先生



The target of learning Chinese is to express smoothly the daily life in Chinese, such as daily greetings, self-introduction and so on.

First start is from reading and pronunciation of Chinese phonetic alphabet. It is quite important for students to study Chinese further that you can grasp well the right pronunciation. After the comprehensive learning Chinese pronunciation and parlance, then you had better to learn conversation and grammar.

Deliver the daily conversation by the learned words and sentences, achieve the target of learning and applying creatively.

I wish to remember the students' name as soon as possible, to give you more chance to speak. Assign homework and answer together, check the learning status of each student by this.

Create a happy learning environment, practice by pronunciation, hearing and conversation to avoid of dull learning.

I also would like to introduce Chinese convention and culture to make the students know more about China, let them love Chinese and love China.

Language study is a long journey, there will be many obstacle and happiness, Let's enjoy the joyful and relaxed study!

第1回 翻訳勉強会の開催

日時：2014年4月20日(日)

場所：あびこ市民プラザ 会議室2

講師：Mr. Greg Getzan

参加者：6名

今年度第一回の翻訳勉強会が開かれました。本勉強会は翻訳のスキル向上の為定期的に開催されています。

今回は日本経済新聞のコラムから肥満に関する記事を各自英語に訳し発表、ネイティブスピーカーから英語的な表現法に関するアドバイスを受けました。

本勉強会は年6回開催、内3回はネイティブスピーカーが講師として参加します。AIRAの翻訳業務に興味ある人の参加を募っています。





フィリピンの家庭料理の紹介

日時：2014年4月24日（木）10時～13時

場所：アビスタ 調理室

指導：網代マロウロウルデス（助手）高野マロウ

参加者：13名（会員3名・非会員10名）及びスタッフ



AIRAの文化講座の一環として、フィリピン出身で市内在住の網代マロウロウルデスさん(AIRA会員)による

「フィリピンの家庭料理の紹介」がありました。

10時前にはほとんどの参加者が集まり早々と準備にかかっていました。参加者は3グループに分かれました。主催者のAIRA文化講座担当の松木さんから開講のあいさつとAIRAの事業紹介があり、また今回の料理指導者網代マロウロウルデスさん、お手伝いで妹さんの高野マロウさんの紹介がありました。

本日の料理は、家庭で気軽に作れ、フィリピン料理で最も人気のあるメニューの1つ「カルデレータ」とデザートとしてフィリピンで人気の「ビコー」です。

網代さんから、料理についての簡単な紹介後、いよいよ調理の開始です。

参加者は女性11名と男性2名。日頃の経験を生かし、調理時間のかかるものから2種類の料理を同時並行しながら手際よく始めました。調理の折り目折り目には、網代さんから詳しい説明がありました。各グループ同じような進行状況でした。

難関はデザートの「ビコー」。ココナツミルクをトロトロになるまでかき混ぜ、煮詰めるのに大変力のいる

作業です。「腕の筋肉痛」を覚悟に、また、焦げ付かないように細心の注意を払いながらかき混ぜなければいけません。「ビコー」の上にかける「ラテック」はフライパンの側面・底についたココナツミルクの固形分をこそげ落としながらかき混ぜるのですが、一瞬の間に色が変わり目が離せない。網代さんも各グループを回りながら「まだまだ・・・」と激励してました。しかし、食してみるととても美味しかった。

カルデレータは、スペイン発祥の料理で、鍋（タガログ語でカルデロ）で調理されることからこの名がついたそうです。牛肉と人参、ジャガイモがメインの料理で、日本でいう肉じゃがとビーフシチューの中間のようなものです。



ビコーは、「フィリピンでいちばん美味しいデザート」と言われるフィリピン伝統のお菓子です。ココナツともち米から作り、もちもちした表面に付けた模様が美しく、ココナツの風味が効き、日本の桜餅・外郎（ういろう）の様なものです。

フィリピン料理にはいろいろな国の食文化が交じり合っているようです。民族や文化と同様に、スペイン、中国の影響や他の東南アジア諸国の料理と共通するものがあったり、また、醤油を使うなど日本の食文化も取り入れられるなど、私達に馴染みのある食べ物といえます。もっとほかのフィリピン料理も作ってみたい、色々な国の料理も作ってみたい、など盛況の下に終わりました。



Information

イベントスタッフ募集

AIRA の下記の事業についてスタッフを募集します。

- * スピーチ大会 開催日 9月28日(日)
- * あびこ国際まつり 開催日 11月30日(日)
(まつり実行委員として参画をお願いします)

ドイツ語サロンの実施

お茶を飲みながらおしゃべりをして、ネイティブ講師とドイツ語を学んでいます。レストランや街角等日常生活の会話を楽しんでいます。興味のある方は参加下さい。

近々の実施日は下記の通り。

- 日 時：6月14日(土) 3:30 p.m. ~ 5:00 p.m.
- 会 場：市民プラザ 会議室1
- 日 時：6月21日(土) 3:30 p.m. ~ 5:00 p.m.
- 会 場：市民プラザ 和室
- 講 師：Mr. Joerg Roth (ドイツ出身)

詳細は AIRA の HP でご覧ください。

にほんごの教え方講座受講生の募集

外国人の方に日本語で日本語を教える講師養成のための講座。

- 開 始：6月25日(水)
- 回 数：24回
- 受講料：38,720円(教材費別途)
- 会 場：中央学院大学
- 講 師：北村弘明氏(聖徳大学教授)

FAX、E-mail で受付を致します。

書損じハガキご協力のお礼

12月～2/28までのキャンペーン期間中に、市内の公共施設の回収箱及び事務局にご持参くださいました書損じハガキは、893枚になり、33,975円分の切手と交換でき、ユネスコの寺子屋活動にお送りいたしました。AIRA 事務局とインフォメーションセンター(アビシルベ)には常時回収箱を設置しています。私たちに出来る小さな活動を引き続きご協力をお願い致します。

翻訳・通訳ボランティア登録のお願い

市や公共団体、グループや個人から依頼の翻訳や、通訳について登録して下さるスタッフを募集しています。外国からのお客様や、外国人の体験入学等の学校での通訳、国際的なイベント時の通訳等があります。英語、中国語、韓国語、スペイン語等、どの言語での登録も結構です。

通訳トレーニングクラスの開催

米国人講師の指導の下で、日常会話をはじめ、市内案内や来賓挨拶、簡単なレクチャーなどの日英双方向通訳の練習をします。日常会話が出来て、通訳に興味のある方の参加をお待ちします。

- 日 時：2014年7月13日(日)
- 授 業：10:00～12:00
- 会 場：あびこ市民プラザ 会議室1
- 講 師：Mr. Rhys Moses (USA)
- 参加費：300円(会員) 500円(非会員)
- 人 数：約10名

※応募者多数の場合は当方にて、AIRA 会員優先とさせていただきます。

会費納入のお願い

2014年度会費未納の方は納入をお願いします。

★編集後記

4月の総会で役員の改選があり、広報部門で私が新たに担当することになりました。よろしくお願いします。多文化共生の時代において、様々な国の人との交流をとおり異文化を体験することは、私たちに様々な気付きを与えます。そのことは結局「自分を知って自分を好きになる」ことに繋がることになるのではないのでしょうか。ありのままの私たちの生活を紹介し異文化交流を図る。この会が市民の立場から国際交流に貢献するとともに、会員相互の交流と情報交換をとおり新しい発見に結び付けられればと願っています。《中村》



我孫子市国際交流協会 ABIKO INTERNATIONAL RELATIONS ASSOCIATION

〒270-1166 千葉県我孫子市我孫子 4-11-1 あびこ市民プラザ内 土・日も開いています(木曜定休)

Tel: 04-7183-1231 Fax: 04-7183-2005 URL: <http://www.e-aira.jp> E-mail: info@e-aira.jp